

Ideal of Service! 2006▶2007

CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB

CCRC

発行 千歳セントラルロータリークラブ
会長 斉藤博司 / 副会長 和田次彦 / 幹事 井上英幸
会報編集責任者 武田伸也
千歳市本町 4-4 ホテル日航千歳 0123-26-5788



会長挨拶

会長 斉藤 博司

10月の夜間例会・・・!

11日から13日の長泉RCへ、友好締結10周年記念訪問の長旅、ほんとうにご苦労様でした。そして14日及び15日の札幌市民会館・ホテルライフオート札幌での地区大会は、わがクラブ6名で参加してまいりました。その中で高塚委員長の下、進められてきたクラブ・リーダーシッププラン(CLP)の話が話題になりました。もう実施はまじかに迫っております。30名以下のクラブは多数あるにもかかわらず、ヘエツというクラブが多い中、ちょっと鼻が高くなりました。また、ブースでの坂井・田口会員の人脈の広さと活躍には頭が下がる思いでした。どうしたら私もあのように・・・電信柱の影からスターカーをやっていました。2日目の大会行事については半日間、ただただ無駄に過ごした感があります。空席が目立つこと甚だしいものでした。プロ野球に例えれば消化試合とでも・・・。

本夜間例会は、大会2日目の悪夢を吹き払うがごとく、私個人としては大いに楽しみたいと思います。

幹事報告

幹事 井上 英幸

- RI2510地区 ガバナーエレクト事務所開設の案内がありました。
- 次年度役員選挙について
次年度 会長エレクト・副会長・副幹事・会計の選出に当たり、立候補・推薦の受付を携帯メール FAXにてお知らせしております。
- 今回友好締結10周年で長泉を訪問した際に米山梅吉記念館に運営資金寄付をお持ちしました。そのお礼状が届けられました。
- 千歳RCより第7グループ6クラブ親睦合同例会のお礼状が届いております。
- 地区新世代委員会より『小中学校での授業・職業体験 協力会員』として、現在当クラブより4名の登録です。11月末日までに追加募集いたしますので、ご協力をお願いいたします。

ニコニコBOX

尾本 眞二会員:しばらく例会欠席が続きまして申し訳ございません。お詫びの気持ちをニコニコいたします。雪が降るころになりますと仕事も落ち着き、出席できそうです。

高塚 信和会員:地区大会において永年出席100%会員15年の部にて表彰されました。

須藤 丈会員:私も15年の100%表彰を受けました。

斉藤 博司会員:私は14年になりますが、10年表彰時に未報告だったので、今回表彰していただきました。

坂井 治会員:私は12年になりますが10年表彰でした。そして地区IC委員会でのブース、大成功でした。RI会長代理の亀岡弘先生は私の大学の恩師でした。ガバナーとご一緒にブースまで訪ねていただきましたことが嬉しかったです。

井上 英幸会員:友好締結10周年、2泊3日でボトル7本、とても楽しい旅でした。

友好10周年、長泉では来年の5月には20数名でおいでになると思っております。次週には入口エレクトより長泉RCの厚い歓迎ぶりをお話いただきます。皆様も友好締結10周年の意識、心して5月を考えてくださいますように。

田口 廣会員:前例会にはWCS委員会より卓話をいただきました。副委員長より皆様によろしくお伝えくださいとのことです。地区大会ではWCSコーナーにお立ち寄りくださりありがとうございます!

本日のプログラム

担当/親睦活動委員長
白木 松敏

『一人一言』

土居 栄治 会員

息子が先日札幌ドームの帰り道高速道路を走っていたときのお話です。夜の12時過ぎ、車が壁にぶつかって煙を上げていました。ライトはついたまま。それぞれの車はスローダウンするが、そのまま行ってしまうんですね。息子は車を止めて警察のほうへ連絡、救急車を呼んで、来るまでの30分くらいの間、声をかけたりと大変だったようです。運転している途中、事故車があった場合ですが、皆さんだったらどのような処置ができるのかなあと思いました。秋の交通安全運動は終わりましたが、くれぐれも車には気をつけていただきたいと思います。

大野 馮 会員

大変おいしいお酒を飲んでいますが、ビールに合う「枝豆」のお話をさせていただきます。効用はビタミン・たんぱく質・食物繊維が豊富。夏の疲労回復に最適といろいろありますが、なぜ「枝豆」というのでしょうか？ 大豆の若い豆を枝ごと切っているからだそうです。枝豆を狙ってウロウロと、おいしいビールをいただきましょう。

羽芝 諒一 会員

長泉へ締結10周年記念旅行ということで今回は4名の方が行ってくださいました。ありがとうございます。5月には長泉より多数の方がお越しになることを聞き、うちのクラブももう一度10周年の意識をしっかりと考えてみようではありませんか。

高塚 信和 会員

私は理事でもなかったのですが、今回静岡に行っていました。5月には長泉から多数の方がお見えになるようなお話がございました。今年のメインイベントというのは、友好10周年ではないでしょうか。ですから今回、理事会がこぞって参加してくださると思っておりましたが残念でたまりません。理事会も骨組みをしっかりとして対処してもらいたい。皆さんに今年度は長泉との10周年が目玉だということをほんとうに考えていただいて、みんな協力合って友好の輪を広げてもらいたいと思いました。昨年私は社会奉仕で6回の清掃奉仕例会を行いました。今年度はなぜ続かないのか、これもとても残念に思っております。

田口 廣 会員

先週ディープリンパクトが引退表明しましたが、引退して更にビジネスが広がるというシステムになっています。3戦を目標にしています。天皇賞・ジャパンカップ・有馬

記念と出走を予定していますが、どうなるか分かりません。私の馬は東京のほうで4着。今日は道営競馬でも3頭走りました。2着・4着・7着でした。明日も3頭出るのでひそかに期待しております。

私、ロータリークラブに入りまして十数年になります。奉仕・ボランティアの話には意外と疎いほうでして頼りない部分がかかなりあるのですけれど、その流れの中でこうして皆さんと楽しくお酒を酌み交わすことがうれしかぎりです。

地区のWCS委員を仰せつかっておりますが、事業の検証を行うため、2月にはタイのウオータープロジェクト、ダムを検証、浄化槽の検証のため、さそりやトカゲがでてくるというジャングル、狂犬病の犬もたくさんいてというタイへのツアーになりそうです。2月です。

西野 文雄 会員

先週は地区のWCS委員会より講和をいただきタイランドに行ったときのお話しがいろいろありましたが、そのときに彼ら一行をサポートしたのが藤岡という男です。神出設計にいた彼ですが、何年か前に国からドンとふるさと基金がでるといのがありまして、それを原資にして海外派遣、視野を広げよう！千歳市民の国際感覚を養おうというのがありました。そのときに一緒に行ったのが、千歳におられる藤岡さんという方で、先週の講和のときには図らずも藤岡さんという人を通じてお話ができて、なるほど人間の縁とは不思議なものだなあと感じました。人間の縁という感じでお話しているつもりですが、私何年か前にこのクラブに所属させていただき、一番感じているのが縁なんですね。皆さんがとても大人で何でもできて、それから田口さんのお話がとても面白くて機智に富んでいて参考にさせていただければなあと思ひ、いつも楽しく聴いておりました。皆様とのこの縁を大事に一生懸命勉強していきたいなあと思っている次第です。

井上 英幸 会員

長泉に行ってまいりました。米山梅吉記念館に行きますと、記念館の一番いいところにうちのクラブの梅の木が立っております。そしてその横に高塚さん自筆のセントラルロータリークラブの石碑があります。長泉RCの皆様が千歳にいらしたとき見ることができるような木を千歳のどこかに？と

今回思ってみました。5月の10周年のときに千歳のどこかに植樹をしたらいいのではと思われま。森林組合の理事長であられます鈴木さんには非常にご足労願わ

なくてはならないと思っております。千歳の町に植樹するには何の樹がいい？ 白樺・ハスカップ・・・やっぱり桜がいいのでは？ りんごの樹もいいなあ。コクワも焼酎につけるとおいしい？ と適当に喋っている今日この頃ですが、鈴木さん、とんでもないと思われているでしょうか？ 斉藤年度 5 月までにそういう企画がめぐってまいりますので、いい樹の選定をよろしく願いいたします。

長手 英記 会員

去年の 12 月に入院し、リハビリを続け10ヶ月になりますが、まだ思うようにお話しできません。若いときにあまりにも喋りすぎたからかも知れません。すばらしいメンバーに恵まれておりますので、何とかこれからもがんばります。

須藤 丈 会員

最近思うことですが、メンバーそれぞれ個性があって、それぞれのキャラクターがあって楽しく生活しているということですが、才能を本当に生かしている方はどのくらいいらっしゃるだろうと思ったのです。28 歳 世界的なピアニスト 生い立ちが特別というわけではないのですが環境が恵まれているのだなあと思います。お父さんお母さんが趣味でチェロ・バイオリンをやっていて 2 歳くらいでチェロ・バイオリンが家庭で必修だった。塾は行ったことがない。やれる習い事は希望すればすべてやらせてもらえた。やめるのも自由だった。大学も希望のところにかかせて貰えた。兄弟皆そのように育った。大学を卒業するとき外交官になりたかったけれど、ピアニスト・外交官・スポーツ選手スキーと、その時どれを自分で飯の種にしようかと最後の決断のとき、自分の中で一番ピアノができるんだということで、いきなりフランスへ行き、専門のピアニストを要請する学校に行き、主席で卒業するまでになった。現在ブタペストとパリに住んでいて、ピアノを職業としているのですが、そのほかに子供たちに指導するという時間をきちっととって講師をやっている。子供たちが「どうしたらプロのピアニストになれるか？」という質問をすると「一日 16 時間練習しなくてはだめですよ」と必ず言う。16 時間というと、寝ている時間以外はすべてなんですよ。大学生のときの彼に、ピアノを弾いているときの分析をしたいので撮影させてくれということで依頼しハイスピードカメラで撮影した。そのときの解析が 時速 200 キロで指が動いていたという。4 時間まともに引き続けても疲れな。この間は生演奏を聞くことがあったのですが、ピアニストがピアノを弾くときにうなるんです。そんなのありかな？と思うくらい気合が入るんです。雑音が入ってはいけないのではと思うんですけど、うなり声が入ってそれもあり。要するにそれだけ没頭できる自分の才能を生かし、他に何もしないで生きている。毎日ブログをだし本の読書数もすごい、かなり博学です。こういう人って何なのだろうと思いますが、わ

れわれは自分の才能を見つけて生かしたことがあるのだろうか。自分の子供たちはどうなんだろうか。何とかひとつでも自分の才能を自分で発見して生かしてくれればいいかなと最近ちょっと思うようになりました。

乾杯の音頭 パスト会長 羽芝 諒一

「ますますのセントラル・ロータリークラブの繁栄を！！」